

「第2回古賀市生涯学習笑顔のつどい ～出会い・つながるときが来た～」実施報告

■主催：古賀市、古賀市教育委員会

■主管：古賀市社会教育委員の会議

■日時：平成27年5月31日（日）10：00～12：00

■会場：リーパスプラザ（古賀市中央公民館）大ホール

■対象：行政区長、分館長、分館主事、校区コミュニティ役員、社会教育関係団体及び
青少年育成団体、市民活動団体、学校教育関係者、行政職員 など

■内容：

- ・オープニング映像「古賀市がめざす生涯学習」
- ・アトラクション（活動発表）
- ・市長あいさつ
- ・社会教育委員あいさつ
- ・実践報告
- ・エンディング映像「古賀ってこんなに素晴らしい」

■参加者数：275人

（資料配布215人、出演者49人、職員11人）

※参考：参加者の所属（アンケート結果より。複数回答。）

所属団体		
ない	17	15.3
行政区長	11	9.9
分館長・分館主事	31	27.9
公民館運営審議会	5	4.5
民生委員	4	3.6
福祉会	7	6.3
校区コミュニティ	14	12.6
小・中PTA連合会	2	1.8
子ども会育成会連合会	3	2.7
文化協会	2	1.8
体育協会	7	6.3
学校関係者	2	1.8
行政関係者	14	12.6
市役所	5	4.5
議会	4	3.6
その他団体	3	2.7
無回答	6	5.4

■周知方法：

広報誌への掲載、公共施設へのポスターの掲示、ホームページ及びサイボウズによる周知のほか、個別の会議や集会等に職員や社会教育委員が出向いて、つどいへの参加を直接呼びかけた（別紙参照）。

■アンケート集計結果：回答数 111

・「生涯学習笑顔のつどいアンケート」の項目①～④については別紙一覧表（A3版）を参照のこと

・⑤開催時期について（「別の時期がよい」の具体的回答）

- ・ 運動会の時期をはずす。
- ・ 農繁期にかからないような日
- ・ 日曜日午前（6月中旬は忙しい行事が重なる）
- ・ 6月日曜日午前
- ・ 6月第1週
- ・ 午前
- ・ 外出促進事業の開始以降

・⑥アトラクションや実践報告を「したい」「見たい」「知りたい」団体について

- ・ 中・高・大学生の活動
- ・ 古賀市市民劇団DAICOON
- ・ 元気組
- ・ 子どもバレエ（ユカリクラシックバレエ）
- ・ コーラス（中・高生を交えて）
- ・ ダブルディ
- ・ 子ども劇場

■成果：

本つどいは第2次古賀市生涯学習基本計画の策定にあわせて、①同計画の趣旨を市民に知ってもらうこと、②市内のさまざまな生涯学習活動を多くの市民に知ってもらうこと、③地域や分野の垣根を越えた活動が交流することにより、新たな活動が生まれること、を目的に開催した。

アンケートには、古賀市内にいろいろな団体や活動があることを知り、驚きや感動を得たという声が多く見られ、古賀市内で地道に活動を続けている人たちがいることを多くの市民に知ってもらうという目的はまずは達成されたと考える。

基本計画については、オープニング映像として概略を紹介し、第2次古賀市生涯学習基本計画のダイジェスト版と生涯学習活動の例示のチラシを資料として参加者に配布した。映像とキーワードとなる言葉で説明することで、古賀市の生涯学習の狙いや活動について、説明を促すことができたと考える。

また、新たな活動へのつながりという点では、アンケートにて「校区コミュニティ運営の参考になった」、「各校区のつながりができるのに参考になった」、「自分自身も退職後、何か役に立つことをしたい」などの意見がでてきたことから、それぞれで行われて

いる地域コミュニティの横のつながりや、活動のつながりが生まれたのではないかと思う。

■来年度へ向けての反省点や課題：

- ・全体の時間について：昨年より30分短縮したためか、昨年のような「長すぎる」という感想は見られなかった。
- ・実践報告について：報告後、報告者と助言者が意見を交える時間を取ったが、「助言者の先生がそれぞれの取組の仕組みや行政区との関係、住民への影響や取組などのよさを引き出してくれた」との意見があった。また、昨年度賛否両論あったまともに関しても、否定的な意見が少なかったことから、意見交換を行うことでより、それぞれの活動のよさや古賀市の中の課題が参加者により伝わったのではないかと思う。
- ・参加者が少なく、せっかくの校区コミュニティの活動や、自主組織である「かたりたい」の活動が一部の参加者にしか届かなかった。アンケートにもあったが、行政区長、校区コミュニティ役員、分館長・分館主事、及び生涯学習に携わる方への呼びかけについて、再度見直したい。
- ・プロジェクターとパソコンにケーブルの調子が悪く、直前までパソコンを変えた関係で、エンディング映像を流すまでに約3分程度参加者を待たせてしまった。次回はこのようなことがないように、トラブルに関して前日までに修正をしておくようにしたい。
- ・本つどいは社会教育委員の主管事業という位置付けで、企画段階から準備や当日の運営までを行っており、資料作成および映像作成等の際にも、それぞれの経験を活かしたのになったかと思う。来年度は生涯学習センター(仮)のオープンの年であることから、企画・運営の方法についても検討したい。